

造血幹細胞移植およびリツキシマブ(リツキサン注®)を投与された患者さんに関する情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院薬剤部では「造血幹細胞移植および Rituximab 含有レジメン施行時の B 型肝炎ウイルススクリーニングおよび HBV-DNA モニタリングに関する多施設共同実態調査」を行うことになりました。この研究の目的は、造血幹細胞移植およびリツキシマブ(リツキサン注®)で治療を行った患者さんの B 型肝炎ウイルスのスクリーニングおよびモニタリング状況を調査し、再活性化との関連性を確認することです。この研究のため、2011 年 1 月より 2012 年 12 月末までに新規に治療を開始した方の調査を行います。対象となるのは造血幹細胞移植およびリツキシマブで治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報(治療上必要であった検査項目など)のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることはいっさいありませんのでご安心下さい。

調査したデータは本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡ください。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しまして御質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2015 年 11 月
がん研究センター中央病院 薬剤部

国立研究開発法人国立

研究責任者 中島 寿久
連絡先 03-3542-2511(代表)